

資料1-7

# G6エリアタンク移送配管(Sr処理水)からの滴下 事象について

2016年4月26日

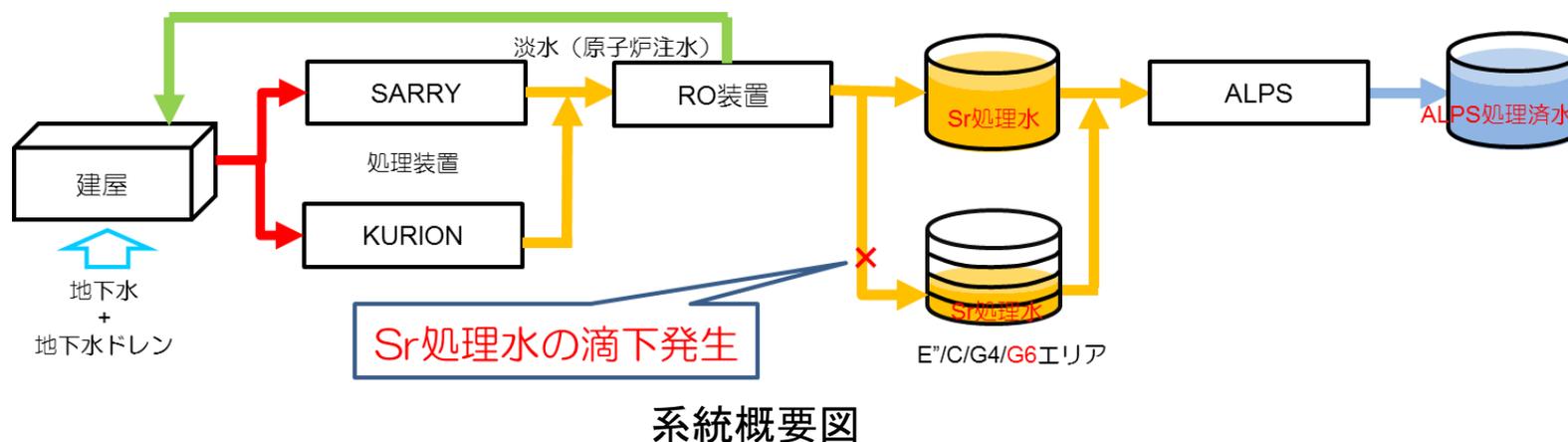
**TEPCO**

2016/4/22現在の状況

# 滴下事象について(1/2)

## ■ 事象概要

- G6エリアタンクへの移送配管からSr処理水の滴下を確認
- 漏えい水の放射能濃度は以下の通り
  - 全β :  $2.6 \times 10^5$  Bq/L
  - Cs-134 :  $1.1 \times 10^3$  Bq/L
  - Cs-137 :  $5.1 \times 10^3$  Bq/L
  - Co-60 :  $1.5 \times 10^3$  Bq/L
- 漏えい量
  - 約2.7Lと推定（1滴/1秒が90分継続したと想定）
  - 最も近いC排水路までは約70m離れており、海へ接続する排水路への排出はない。



## ■ 時系列

2016.4.20	17:15頃	G6エリア移送前の配管構成を確認 (手順書に基づく弁操作、ラインの確認)
	17:45	G6エリアへの移送操作開始 (エアー噛み等で移送できずポンプ起動停止を繰り返し実施 ラインナップ再確認実施)
	18:00頃	当該移送ラインから漏えいがないことを確認
	18:54	ポンプ停止 (以降、移送ラインへのポンプ起動なし)
	19:20頃	G6エリアタンクへの移送配管で水の漏えい発生 (1滴/1秒) 速やかビニール養生実施
	19:39	漏えい箇所を弁により隔離完了
2016.4.21	22:00頃	応急処置実施 (吸水材・土嚢設置)
	15:00頃	当該配管の滴下した箇所に設置したビニール養生内の水量を確認し、 有意な増加がないことを確認
2016.4.22	19:35	配管内の水抜き完了
	10:18	汚染土壌の回収完了

## ■ 対応事項

- 当該漏えい部全体の雨養生を実施済み。
- 引き続き、以下の対応を実施
- 水抜き後のフランジ部外観点検、フランジの分解点検

## ■ 原因

今後、原因調査を実施

応急措置前



保温材取外



応急措置後



吸水材設置

ビニル養生



土嚢設置